

現状と課題

徳島大学病院では、病床数692床に対して、2,000人/日、470,000人/年の外来患者が来院し、医師は診療に多忙を極めており、教育・研究に費やす時間の確保に苦慮している。
また、徳島県では、徳島大学病院と県立中央病院が隣接し、**連絡橋（メディカルブリッジ）**で繋がる全国にも例のない環境にあり、また、県南部、西部、北部の県立病院等も含め「総合メディカルゾーン」を形成している。

事業概要

県立中央病院と連絡橋で繋がる類稀な環境と県立病院等と連携している総合メディカルゾーンの特性を活用し、各病院に大学関連組織を配置して大学病院への患者集中を是正することで、病床・人的資源の最適化による経営環境の改善と教育研究基盤の充実を図る。診療分散と人材再配置により、持続可能な大学病院モデルへの構造転換を実現する。

